

経済指標ウォッチャー

7月米小売売上高 市場予想を下回る 飲食サービスは好調

経済活動の再開が進むも、感染拡大で消費への慎重姿勢も

小売売上高とは？

百貨店やスーパーなどの小売・サービス業の月間売上高について、サンプル調査をベースにした景気関連の経済指標（耐久財と非耐久財に大別）。消費者が商品購入にどれだけお金を使ったかが分かる。個人消費はGDP（国内総生産）の中でも大きな割合を占めることが多いため、個人消費のトレンドや景気の良し悪しを判断するためにも重要視される。

小売売上高は2ヵ月ぶりに低下となるも高水準

米商務省が17日発表した2021年7月の全米の小売売上高（季節調整済み）は前月比1.1%減の6,177億ドルとなりました。市場予想の同0.3%減を大幅に下回ったものの、引き続き新型コロナウイルス感染拡大前の水準を大幅に上回っています（図表1）。全米の各州において、これまで感染防止策として講じられていた飲食店等の営業時間の短縮や、店内客数の規制が緩和されたことから、飲食サービスを中心に実店舗への来店客数が増加しているようです。

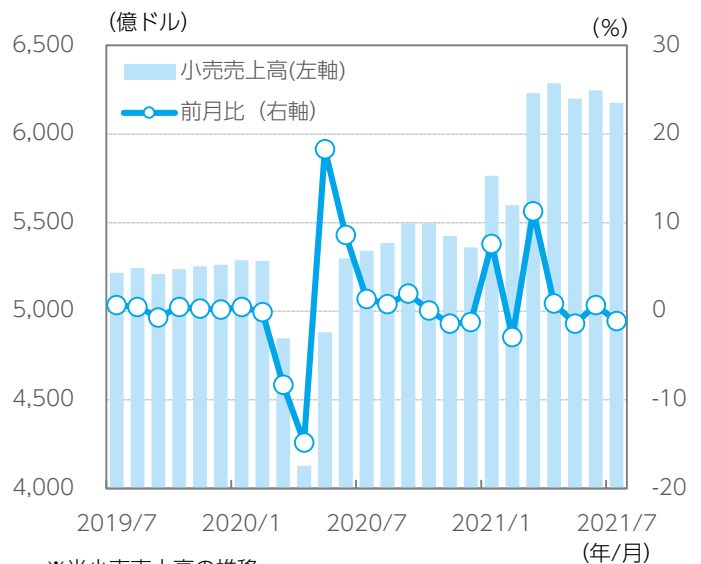
内訳では、ワクチン接種の普及による経済活動再開の広がりから、小売売上高に含まれる唯一のサービス業である飲食サービスが同1.7%増の722億ドルとなりました。一方、世界的な半導体の供給ひっ迫による生産量の減少や在庫不足などから、自動車販売が同3.9減の1,267億ドルとなりました。

感染拡大で消費への慎重姿勢もうかがえる

外出自粛や政府による現金給付により増加した家計貯蓄を取り崩し、消費する動きは一巡しつつあるようです。なお、消費者の購買意欲を示すミシガン大学消費者信頼感指数（1966年=100）は、8月にはおよそ10年ぶりの低水準となり、耐久財の購入時期に関する調査からも、消費者の慎重姿勢がうかがえました（図表2）。

経済活動の再開が進む一方、感染力が強いとされるデルタ株による感染拡大への懸念などから、消費者の慎重姿勢が続くとみられ、今後の消費は緩やかになることが予想されます。

図表1：2ヵ月ぶりの減少となるも高水準

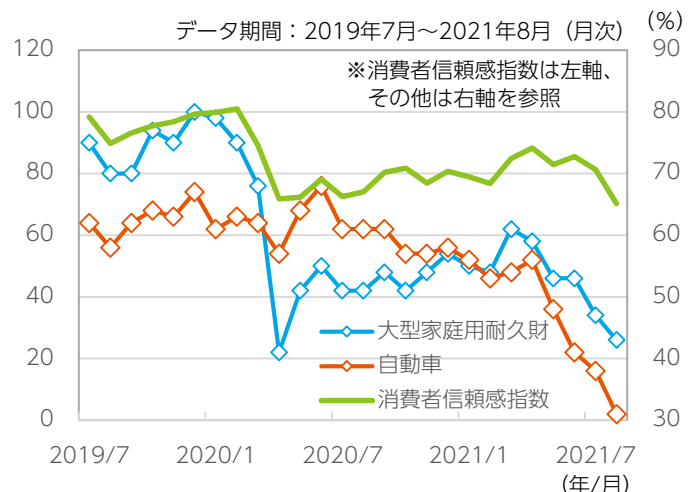


※米小売売上高の推移

データ期間：2019年7月～2021年7月（月次）

出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

図表2：耐久財*の購入に慎重な姿勢が見られる



※ミシガン大学消費者信頼感指数と調査回答（「耐久財の購入に良い時期」との回答の割合）の推移

*家具、大型家電、自動車など

出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>